

海員春闘 [対話集会] 九州関門地方支部
北九州・下関地区/福岡地区/大分地区 地区対話集会

九州関門地方支部は、3月18日に大分地区と福岡地区で、3月19日には北九州・下関地区で対話集会を開催し、組合員計21人が出席し、今次春闘に期待する声を寄せた。

各地区の対話集会では、はじめに執行部から、日本カーフェリー交渉委員会と内航交渉委員会、全内航交渉委員会など、組合本部で行われている各船団との中央交渉の経過を報告し、その後、九州関門地方支部が担当する各社との交渉の経過報告と今後の進め方・考え方を説明した。

出席した組合員との意見交換では、昨今の世界情勢やその影響による物価高騰をはじめ、日々の生活防衛手段としての賃金アップに期待する多くの声が寄せられた。

出席者の主な意見・要望など

燃料油なども高騰しているため、ベースアップ獲得に向けて交渉を頑張ってもらいたい。

▽今年例年に比べて船団側も前向きな姿勢だと感じているため、引き続き交渉を頑張ってもらいたい。

▽陸上諸産業の満額回答が報道されるなか、海事産業も負けぬように満額回答を勝ち取るように頑張ってもらいたい。

▽物価上昇は肌身で感じている。生活が苦しくなっているため、ベースアップの満額回答に大きく期待している。

各地区ともに、物価高に対するベースアップ、各諸手当の改善に向けた組合員の期待は高く、今次労働協約改定闘争では、現場組合員の負託に応えることができるよう、粘り強く取り組むことを確認し、各地区対話集会を終了した。

「海員だより」